街路樹再生計画に関する状況報告

資料 B－3

道路保全課

1．街路樹再生計画策定委員会・市民WSでの議論

■ R３年度に３回の委員会を開催
現計画における課題や伐採後のイメージを共有し、今後の方向性や素案の改定内容などを協議した

	第１回市民ワークショップ（令和4年（2022年）3月13日開催） 第２回市民ワークショップ（令和4年（2022年）5月14日開催）
議題	・１０年後の街路樹の風景がどうあって欲しいか？ ・あなたが考える、持続可能な街路樹マネジメントの課題 ・あなたが考える、やってみたい課題解決

	第７回委員会（令和4年（2022年）5月26日開催）
議題	・熊本市域街路樹再生計画の素案について
素案	街路樹が抱える課題への対応基準（伐採、更新等）は、当初計画の通りとする。 （当初伐採対象５０２本は変更なし） 【変更点】 ①計画期間を５年から１０年（2029年度まで）へ変更する（安全・安心にかかるものは2024年度まで、その他は市民に対し丁寧な説明を行いながら2029年度までに実施） ②重点区間を設定し、植生基盤の強化を実施するとともに、樹種の変更についても検討を行う ③補植や管理目標樹形（枝張り、樹高）の基準を追加する ④緑視率について、各区間ごとの視点場で算出する

➡ 街路樹再生計画の素案について、パブリックコメントを実施

2．市民への丁寧な説明の手法とプロセス

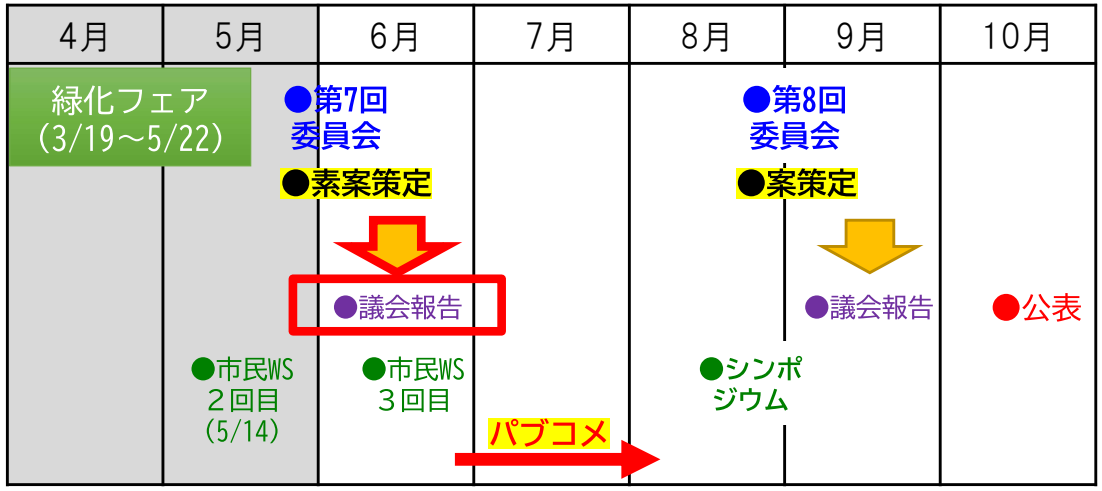
■ ワークショップ・パブリックコメント・シンポジウムを通じて、計画の内容を広く丁寧に説明し、理解を得ると共に、街路樹への関心を高める
■ 様々なアイデアを引き出し、市民参画で計画を策定する

パブコメ シンポジウム
・策定した素案を広く市民へ丁寧に説明し、理解を得ると共に、意見を聴取する

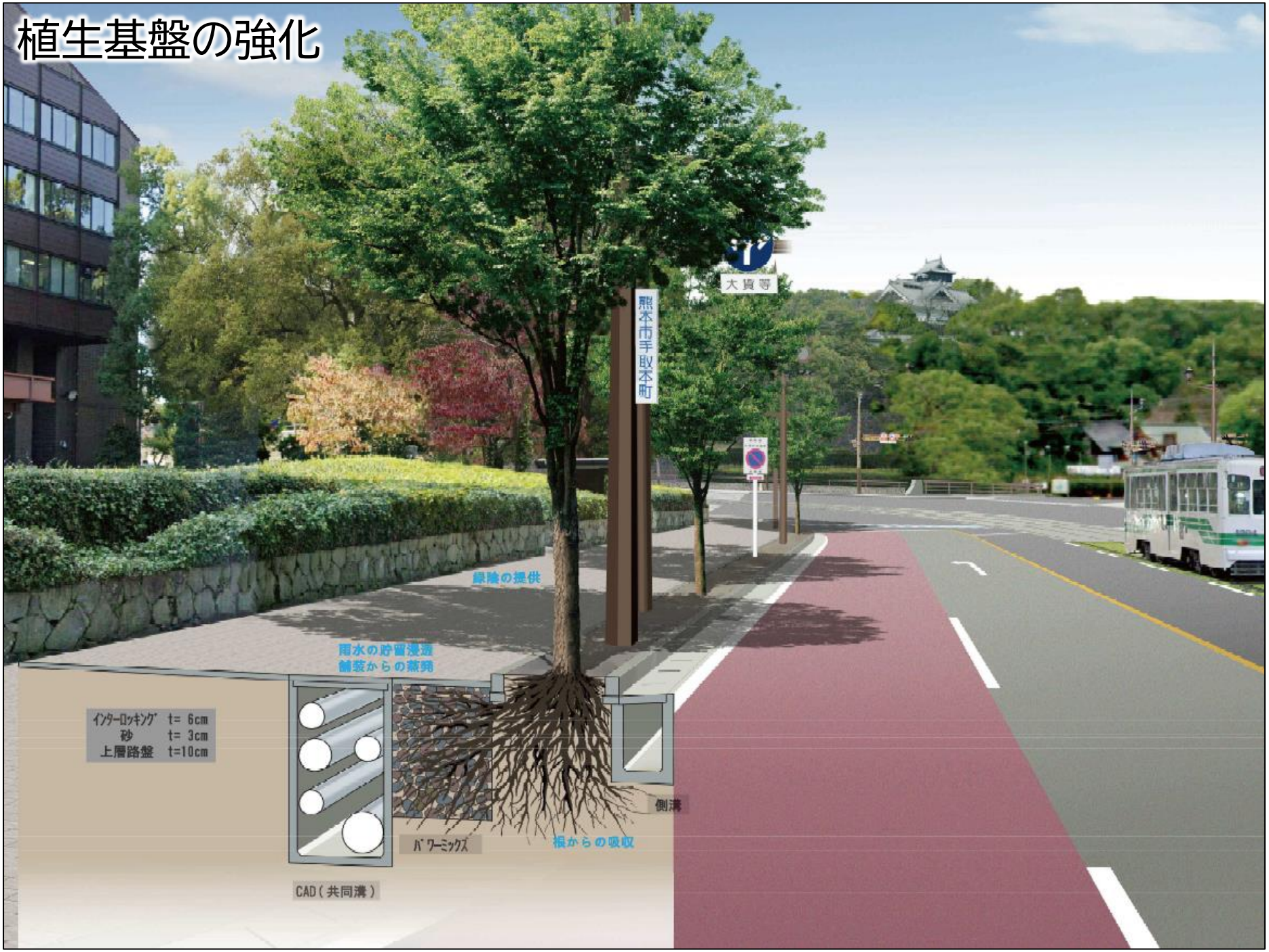
第８回 委員会
・パブコメ、シンポジウムでの議論や意見を踏まえて策定した案について、議論し決定

3．今後のスケジュール（案）

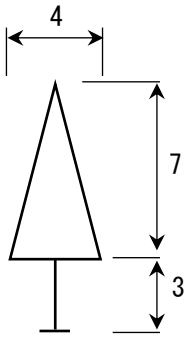
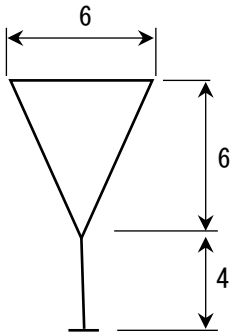
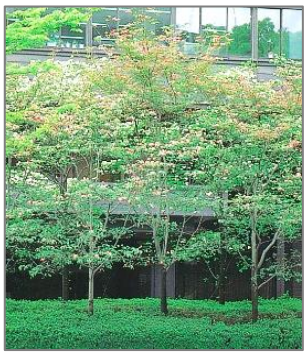
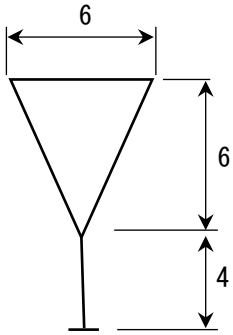
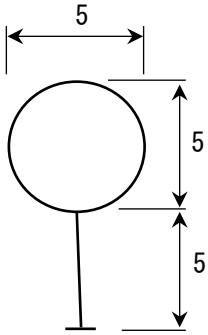
➢ 令和４年１０月の公表を目標に、以下のスケジュールで進めていく予定



植生基盤の強化


大貨等
熊本市手取本町
緑陰の提供
雨水の貯留浸透
舗装からの蒸発
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ t= 6cm
砂 t= 3cm
上層路盤 t=10cm
側溝
ﾊﾟﾜｰﾐｯｸｽ
根からの吸収
CAD（共同溝）

管理目標樹形の設定（案）

樹種	目標樹形
イチョウ 	円錐形 
ケヤキ 	盃状形 
ハナミズキ 	盃状形 
クスノキ 	球形